



都内企業の景況感

—第117回企業動向調査結果 平成26年2月実施—



◎ 都内中小企業の景況は、回復している。先行きも改善が続く見通し。

1. 都内中小企業の景況は、自社業況判断DI*が前回の7.4から今回17.9へと10.5ポイント上昇し、回復している。先行きについても、同DI*は18.4と高い水準が続く見通しにある。	(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	(先行き)
	自社業況判断 DI*	7.4	⇒	17.9 (前回予想 22.6)	⇒	18.4
2. 売上高DI*は、前回の8.5から今回16.1へと7.6ポイント上昇、経常利益DI*は、0.3から10.1へ9.8ポイント上昇した。先行きについては、両DI*ともに上昇する見通し。	売上高 DI*	8.5	⇒	16.1 (前回予想 20.7)	⇒	20.1
	経常利益 DI*	0.3	⇒	10.1 (前回予想 8.7)	⇒	10.4
	販売価格 DI	3.2	⇒	4.3	⇒	10.2
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは、今回4.3と1.1ポイント、仕入れ価格DIは35.0と7.2ポイント上昇した。先行きは、販売価格DI、仕入れ価格DIともに上昇する見通し。	仕入れ価格 DI	27.8	⇒	35.0	⇒	41.7
	製造業製品在庫 DI*	-7.9	⇒	-3.9	⇒	...
	設備資金需要 DI*	6.0	⇒	1.8	⇒	11.1
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の6.0から今回1.8へと4.2ポイント低下し、運転資金需要DI*は前回の15.4から今回8.6へと6.8ポイント低下した。先行きは、両DI*ともに上昇する見通し。	運転資金需要 DI*	15.4	⇒	8.6	⇒	10.3
	金融機関借入 難易感 DI	19.9	⇒	26.7	⇒	...
	資金繰り DI	8.1	⇒	8.4	⇒	...
5. 金融機関借入難易感DIは、今回26.7と6.8ポイント上昇し、緩和感が拡大した。資金繰りDIは、今回8.4と前回からほぼ横ばいであった。	(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
	同業他社との競合	16.3	⇒	15.3		
6. 経営上の問題点では、「同業他社との競合」がシェア15.3%で、前回同様第1位となった。第2位は、前回4位の「原材料高・仕入れ価格高」が14.0%にシェアを高めた。第3位は、前回2位の「人材難」で、13.3%であった。第4位は、前回6位の「労働力不足・求人難」で、10.5%だった。第5位は、前回3位の「売上不振」で10.3%だった。第6位は、「取引先からの値引き要請」で7.8%、第7位は、「人件費等経費の増加」で6.2%、第8位は、「円相場変動」4.9%であった。	原材料高・仕入れ価格高	11.4	⇒	14.0		
	人材難	15.3	⇒	13.3		
	労働力不足・求人難	7.2	⇒	10.5		
	売上不振	14.0	⇒	10.3		
	取引先からの値引き要請	8.0	⇒	7.8		
	人件費等経費の増加	4.9	⇒	6.2		
	円相場変動	3.5	⇒	4.9		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。
 2. 天気図は自社業況判断*、売上げ*、経常利益*、設備資金需要*の4指標の平均値(前回5.6、今回11.5、先行き15.0)で判断したもの。前回は「晴れ時々曇り」、今回は「晴れ」、先行きは「晴れ」。
 3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標はマークなし。
 4. 「先行き」「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。